

# 行政評価(施策評価シート)

## 1 基本項目

|  |                        |
|--|------------------------|
| 基本目標1  | 生涯を通じて学び育つまち           |
| 基本施策2  | 学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成 |
| 施策3  | 学校教育                   |
| 基本方針   |                        |
| 児童・生徒一人ひとりの個性と能力を最大限伸ばすとともに、「生きる力」を育み、豊かな人間性と社会性を身につけさせるため、小中一貫教育を中心とした学校教育の充実を図ります。 |                        |

## 2 指標(長期総合計画目標指標)

| 指標名 |                                    | 現状    | H24実績             | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | 目標値<br>(平成28年度) |
|-----|------------------------------------|-------|-------------------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 指標1 | 学校アンケートの「小中一貫教育に関する項目」に対する肯定的評価の割合 | -     | 60%               | 72%   | 84%   | 83%   | 84%   | 80%             |
| 指標2 | 中学校における不登校生徒出現率                    | 3.07% | (平成22年度)<br>4.12% | 2.85% | 3.16% | 3.81% | 3.83% | 2%              |
| 指標3 | 中学校区ごとの学校支援地域本部(仮称)の設置数            | 0校区   | (平成22年度)<br>1校区   | 3校区   | 3校区   | 3校区   | 3校区   | 3校区             |

## 3 施策を構成する平成28年度事務事業の実施・評価結果

| No | 事業名                                | 平成28年度実施結果 |        |          | 評価(所管課長) |         |         |     | 指標に係る重点事務事業 |
|----|------------------------------------|------------|--------|----------|----------|---------|---------|-----|-------------|
|    |                                    | 決算/円       | 予算執行率  | 進捗状況     | 妥当性(必要性) | 効率性(手法) | 有効性(成果) | 方向性 |             |
| 1  | 小中一貫教育の推進                          | 10,686,010 | 99.5%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   | *           |
| 2  | 多様なニーズに応じた特別支援体制(インクルーシブ教育システム)の構築 | 3,839,235  | 85.8%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   | *           |
| 3  | 特色ある学校づくりの推進                       | 8,605,070  | 86.1%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   |             |
| 4  | 学習サポーターの充実                         | 11,367,000 | 100.0% | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   |             |
| 5  | 特別支援教育支援員の充実                       | 12,159,910 | 87.8%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   | *           |
| 6  | 特別支援教室の設置                          | 561,053    | 62.8%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   | *           |
| 7  | 職層研修等の実施                           | 20,000     | 66.7%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   |             |
| 8  | スクールソーシャルワーカーの充実                   | 1,535,408  | 72.4%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   | *           |
| 9  | 教育相談員による巡回相談の充実                    | 16,462,970 | 96.7%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   | *           |
| 10 | 中学校不登校等対応指導員の配置                    | -          | -      | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   | *           |
| 11 | 教育用コンピューターの更新                      | 35,445,060 | 100.0% | 計画を見直し完了 | ○        | ○       | ○       | A   |             |
| 12 | 学校図書館総合管理システムの拡大                   | 3,884,328  | 87.8%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   |             |
| 13 | 学校図書館司書の充実                         | 5,917,386  | 99.0%  | 計画どおり完了  | ○        | ○       | ○       | A   |             |

|    |                       |             |        |          |   |   |   |   |   |
|----|-----------------------|-------------|--------|----------|---|---|---|---|---|
| 14 | 学校支援地域本部の運営           | 816,000     | 100.0% | 計画どおり完了  | ○ | ○ | ○ | A | * |
| 15 | 小中学校部活動の充実            | 12,849,463  | 80.4%  | 計画どおり完了  | ○ | ○ | ○ | A |   |
| 16 | 幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会の運営 | 5,000       | 33.3%  | 計画を見直し完了 | ○ | ○ | ◎ | A | * |
| 17 | 学校教育施設の計画的な改修         | 661,217,040 | 97.2%  | 計画どおり完了  | ○ | ○ | ○ | A |   |

#### 4 施策評価

##### ①施策の評価

小中一貫教育を柱とした教育の充実については、全中学校区で着実に実施されており、児童・生徒の交流、小中教員の相互連携は回数・頻度を重ね深度が増し、小中一貫教育に関する項目に対する肯定的評価も安定している。教員への支援、児童・生徒に関わる学習環境・支援環境も継続し行っている。

中学校における不登校生徒については、基本計画を策定した平成24年当時に比べて、子どもを取り巻く環境の複雑化など社会環境の変化により全国的に増加傾向にあり、当初目標（出現率2%）は達成されていないが、不登校対応指導員を配置し学校復帰への支援を行ってきた。

多様なニーズに対応した教育の推進については、特別支援教育における支援員の配置により、市内小学校の通常の学級に在籍する児童で発達障害等があり、特別な支援が必要な児童に対し、効果的な指導を提供することができた。また、平成28年4月から全小学校7校において「特別支援教室」事業が本格実施され、在籍校における発達障害及びその傾向のある児童の支援体制の整備と指導の充実を図った。社会福祉士等の資格を持ったスクールソーシャルワーカーを、校区に分けた（一中校区・二、三中校区）配置を行い、小・中学校からの積極的な要望に応じて課題のある児童・生徒の情報を学校と共有し、保護者や児童と面接を行うと共に、学校内外の関係機関との連絡調整を図り児童・生徒の生活環境の改善に努めた。東京都のスクールカウンセラー事業の活用や教育相談室の相談員を全小学校に週1回、全中学校に月1回配置し、学校という身近なところでの相談場所を確保した。これらの取組みを通じて一人ひとりに応じた支援体制の整備を図ってきた。

教育環境の整備の面では、教育用コンピューターの更新や学校図書館総合管理システムの導入校の拡大といったハード面の整備に加え、家庭・地域と連携協力した学校支援の仕組みとしての学校地域本部の全中学校区での設置や学校支援地域本部コーディネーターの配置などソフト面での整備を進めることができた。

##### ②今後の方向性(改善への取組み等)

引続き、小中一貫教育を柱とした教育、学校支援地域本部の運営を推進していく。

不登校生徒の対応については、その背景・原因を生徒や家庭の問題として放置することなく、その解消に取り組んでいく必要があることから、スクールカウンセラーや教育相談員等の心理士やスクールソーシャルワーカーなど、専門性の高い人材を積極的に活用し、情報を共有することにより未然防止・早期対応に取り組んで行く。

発達障害等のある児童・生徒については、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応え、成長を支援していくため、教員の専門性の向上を図る研修を充実させるとともに、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童・生徒への支援を充実するために、教員の資格を有する特別支援教育支援員を配置し、児童・生徒のきめ細やかな支援を継続していく。また、子どもと保護者の多様なニーズを受け止めた共生社会の形成（インクルーシブ教育システム）を実現のためのシステム構築について、学校におけるよりニーズに応じた支援体制の構築を図るため、各学校に配置されている特別支援教育コーディネーターを中心に、各学校に応じた研修体制を構築（専門家による学校巡回等）していく必要がある。

平成28年度 【基本シート】

|        |           |              |       |           |       |        |
|--------|-----------|--------------|-------|-----------|-------|--------|
| 1.基本項目 |           | 作成部署         | 生涯学習部 |           | 学校教育課 |        |
| 事業名    |           | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法  | 進行管理   |
| 1      | 小中一貫教育の推進 | 平成 21 年      | 継続    | 自治事務(市独自) | 直営    |        |
|        | 01        | 年            |       |           |       |        |
|        | 02        | 年            |       |           |       |        |
|        | 03        | 年            |       |           |       |        |
|        | 04        | 年            |       |           |       |        |
|        | 05        | 年            |       |           |       |        |
| 関連課    |           |              |       |           |       |        |
| 基本目標   | 1         | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3         | 学校教育  | 事業番号 1 |

2.事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業内容 | 各中学校区の特色を生かした小中一貫教育実施計画に基づき、9年間の継続した教育活動を行います。 |
| 根拠法令 |  |
| 条例   |  |
| 要綱等  | 小中一貫教育実施計画                                     |

3.成果指標

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 成果目標 | 児童・生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育てる。 |
|------|--------------------------------------|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)                           | 3か年計画  |        |        |
|--------------|--------------------------------------|--------|--------|--------|
|              |                                      | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事業内容<br>事業量等 | 小中一貫教育の実施 全中学校区                      | 同左     | 同左     | 同左     |
|              | 学習コーディネーター、英語コーディネーター、外国語活動アドバイザーの配置 | 同左     | 同左     | 同左     |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |       | 平成28年度 |       | 平成29年度 |       | 平成30年度 |       |
|--------|------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
|        | 人数         | 概算時間  | 人数     | 概算時間  | 人数     | 概算時間  | 人数     | 概算時間  |
| 係長職    | 1人         | 160 H | 1人     | 160 H | 1人     | 160 H | 1人     | 160 H |
| 主事・主任職 | 0人         | 0 H   | 0人     | 0 H   | 0人     | 0 H   | 0人     | 0 H   |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 8,056      | 8,194  | 8,194  | 8,194  |
| 人件費(係長職)       | 807        | 796    | 796    | 796    |
| 人件費(主任・主事職)    | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 総事業費(合計)       | 8,863      | 8,990  | 8,990  | 8,990  |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 200        | 200    | 200    | 200    |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 8,663      | 8,790  | 8,790  | 8,790  |
| 財源内訳(合計)       | 8,863      | 8,990  | 8,990  | 8,990  |

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果物  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者: 小中学校の児童・生徒

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

羽村市独自の特色ある教育内容である「英語教育」、「羽村学(郷土学習)」、「人間学(キャリア教育)」の指導体制の充実のため、外国語活動アドバイザー、英語コーディネーター3人及び学習コーディネーター6人を配置した。

②投入実績

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初)   | 補正・流用額    | 予算額(最終)    | 決算額        | 執行率   |
|--------------|-----------|-----------|------------|------------|-------|
| 事業費          | 8,194,000 | 2,550,000 | 10,744,000 | 10,686,010 | 99.5% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)  | 今年度(どういう状態になったか)   |
|--|--|
| 引続き、小中一貫教育実施計画に基づき9年間の教育活動の充実を図るため、羽村市独自の特色ある教育内容に取り組んだ。 | 小中一貫教育実施計画に基づき9年間の教育活動の充実を図るため、着実に羽村市独自の特色ある教育を実施した。<br>また、はむらの教育を活用し小中一貫教育の取組を情報発信した。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check(評価)**

8.評価

◎…適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○…適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △…課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目        | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|-----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性 (必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性 (手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性 (成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

|          |                        |  |        |
|----------|------------------------|--|--------|
| 【今後の方向性】 |                        | 高 [妥当性・有効性]                            | 今後の方向性 |
| 低        | B:事業の進め方の改善の検討         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | A      |
|          | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  |        |
|          | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討   |  |        |
|          |                        |  |        |
|          |                        | 高 [効率性]                                |        |
|          |                        | 低                                      |        |

**Action(改善)**

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)

今後も各校の実態及び喫緊の教育課題等を踏まえた施策を展開していく。

平成28年度 【基本シート】

|        |                                    |                                |       |           |       |      |    |
|--------|------------------------------------|--------------------------------|-------|-----------|-------|------|----|
| 1.基本項目 |                                    | 作成部署                           | 生涯学習部 |           | 教育支援課 |      |    |
| 事業名    |                                    | 開始年度                           | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法  | 進行管理 |    |
| 2      | 多様なニーズに応じた特別支援体制(インクルーシブ教育システム)の構築 | 平成 26 年                        | 継続    | 自治事務(市独自) | 直営    |      |    |
|        | 01                                 | 年                              |       |           |       |      |    |
|        | 02                                 | 年                              |       |           |       |      |    |
|        | 03                                 | 年                              |       |           |       |      |    |
|        | 04                                 | 年                              |       |           |       |      |    |
|        | 05                                 | 年                              |       |           |       |      |    |
| 関連課    |                                    | 学校教育課・障害福祉課・健康課・子育て支援課・生涯学習総務課 |       |           |       |      |    |
| 基本目標   | 1                                  | 生涯を通じて学び育つまち                   | 施策区分  | 3         | 学校教育  | 事業番号 | 19 |

2.事業の概要

|      |   |  |
|------|---|--|
| 事業内容 | IES(インクルーシブ教育システム)コーディネーターを配置し、教員、特別支援教育支援員、巡回教育相談員等の専門性向上による校内体制の整備及び市の支援体制の充実を図ります。また、発達相談員を配置し、幼稚園・保育園、中学校への園児や生徒の行動観察及び就学等に係る相談を行います。 |  |
| 根拠法令 |   |  |
| 条例   |   |  |
| 要綱等  |   |  |

3.成果指標

|      |  |
|------|--|
| 成果目標 | 就学前から就労に至るまで、多様なニーズを受け止めた共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進体制(インクルーシブ教育システム)を実現する。 |
|------|--|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)                                | 3か年計画   |         |         |
|--------------|---|---------|---------|---------|
|              |   | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |
| 事業内容<br>事業量等 | インクルーシブ教育システムコーディネーターの配置、支援体制の運営 年84日     | 同左 年84日 | 同左 年84日 | 同左 年84日 |
|              | 発達相談員による幼稚園・保育園、中学校への園児や生徒の行動観察及び就学等に係る相談 | 同左      | 同左      | 同左      |
|              | 「はばたきファイル」の配布・活用                          | 同左      | 同左      | 同左      |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 40 H | 1人     | 40 H | 1人     | 40 H | 1人     | 40 H |
| 主事・主任職 | 1人         | 40 H | 1人     | 40 H | 1人     | 40 H | 1人     | 40 H |

②総事業費

| 事業費の内訳(単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費           | 6,450      | 6,666  | 6,666  | 6,666  |
| 人件費(係長職)      | 202        | 199    | 199    | 199    |
| 人件費(主任・主事職)   | 144        | 136    | 136    | 136    |
| 総事業費(合計)      | 6,796      | 7,001  | 7,001  | 7,001  |
| 国庫支出金         | 3,391      | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債            | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)   | 3,405      | 7,001  | 7,001  | 7,001  |
| 財源内訳(合計)      | 6,796      | 7,001  | 7,001  | 7,001  |

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果物  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:



**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

インクルーシブ教育システムコーディネーターを配置し、特別支援学級、特別支援教室、教育相談室他、関係機関等の教育資源を効果的に組み合わせ、活用するシステムの構築の支援を実施した。発達相談員による幼稚園、保育園、中学校への巡回発達相談を実施した。

②投入実績

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初)   | 補正・流用額      | 予算額(最終)   | 決算額       | 執行率   |
|--------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-------|
| 事業費          | 6,666,000 | ▲ 2,189,000 | 4,477,000 | 3,839,235 | 85.8% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)  | 今年度(どういう状態になったか)  |
|--|---|
| インクルーシブ教育システムコーディネーターを配置し、特別支援学級、特別支援教室、教育相談室他、関係機関等の教育資源を効果的に組み合わせ、活用する取組の構築のための支援を実施した。発達相談員による幼稚園、保育園、中学校への巡回発達相談を実施した。なお、就学・転学相談の件数は増加傾向である。 | インクルーシブ教育システムコーディネーターを配置し、特別支援学級、特別支援教室、教育相談室他、関係機関等の教育資源を効果的に組み合わせ、活用するシステムの構築の支援を実施した。発達相談員による幼稚園、保育園、中学校への巡回発達相談を実施した。なお、就学・転学相談の件数は増加傾向である。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check(評価)**

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) ◎…適切であるが、今後、より効果的に改善するもの  
 ○…適切なもの  
 △…課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】    |         | 今後の方向性 |
|-------------|---------|--------|
| 高 [妥当性・有効性] |         | A      |
| ↑           | 高       |        |
| ←           | → [効率性] |        |
| ↓           | 低       |        |

B:事業の進め方の改善の検討      A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当

C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討

D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)   |
|--|
| インクルーシブ教育システムコーディネーターを配置し、子どもと保護者の多様なニーズを受け止めた共生社会の形成(インクルーシブ教育システム)を実現のためのシステムを構築してきた。今後は、学校における、より多様なニーズに応じた支援体制の構築を図るため、各学校に配置されている特別支援教育コーディネーターを中心に、各学校に応じた研修体制を構築(専門家による学校巡回指導等)していく必要がある。 |

平成28年度 【基本シート】

|                |              |         |       |           |       |      |
|----------------|--------------|---------|-------|-----------|-------|------|
| 1.基本項目         |              | 作成部署    | 生涯学習部 |           | 学校教育課 |      |
| 事業名            |              | 開始年度    | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法  | 進行管理 |
| 3 特色ある学校づくりの推進 |              | 平成 16 年 | 継続    | 自治事務(市独自) | 直営    |      |
| 01             |              | 年       |       |           |       |      |
| 02             |              | 年       |       |           |       |      |
| 03             |              | 年       |       |           |       |      |
| 04             |              | 年       |       |           |       |      |
| 05             |              | 年       |       |           |       |      |
| 関連課            |              |         |       |           |       |      |
| 基本目標 1         | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分    | 3     | 学校教育      | 事業番号  | 2    |

2.事業の概要

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 事業内容 | 各小中学校へ交付金を交付し、特色ある学校づくりを展開します。 |
| 根拠法令 |                                |
| 条例   |                                |
| 要綱等  | 羽村市立小中学校特色ある学校づくり交付金交付要綱       |

3.成果指標

|      |   |
|------|---|
| 成果目標 | 学校の実態や地域、保護者のニーズに対応した教育活動を推進し、児童・生徒の学力向上と健全育成を図る。 |
|------|---|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)   | 3か年計画  |        |        |
|--------------|--|--------|--------|--------|
|              |  | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事業内容<br>事業量等 | 各学校の実施計画に応じた支援 全小中学校10校<br>・小中一貫教育を柱とした特色ある教育の推進<br>・多様なニーズに応じた教育の推進<br>・健やかな成長を支える教育環境の整備 | 同左     | 同左     | 同左     |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 160H | 1人     | 160H | 1人     | 160H | 1人     | 160H |
| 主事・主任職 | 0人         | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   |

②総事業費

| 事業費の内訳(単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費           | 10,000     | 10,000 | 10,000 | 10,000 |
| 人件費(係長職)      | 807        | 796    | 796    | 796    |
| 人件費(主任・主事職)   | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 総事業費(合計)      | 10,807     | 10,796 | 10,796 | 10,796 |
| 国庫支出金         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源       | 10,000     | 10,000 | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債            | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)   | 807        | 796    | 10,796 | 10,796 |
| 財源内訳(合計)      | 10,807     | 10,796 | 10,796 | 10,796 |

③コスト計算

|       |        |                  |       |   |
|-------|--------|------------------|-------|---|
| ア 市民  | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 192   | 円 |
| イ 対象者 | 4448   | 人における1人あたりのコストは、 | 2,427 | 円 |
| ウ 成果物 |        | の 出来高            |       | 円 |
|       |        | のコストは            |       | 円 |

※ 対象者: 小中学校の児童・生徒

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか)  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

市内小・中学校が主体的に子どもや地域の特性を踏まえた教育活動を展開するため「特色ある学校づくり交付金」制度を活用し、各小・中学校の教育活動の充実と活性化を図った。

②投入実績

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初)    | 補正・流用額 | 予算額(最終)    | 決算額       | 執行率   |
|--------------|------------|--------|------------|-----------|-------|
| 事業費          | 10,000,000 |        | 10,000,000 | 8,605,070 | 86.1% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)                                | 今年度(どういう状態になったか)                                 |
|--|--|
| 引続き、前年度の取組みを土台に児童・生徒や地域の実態を踏まえた教育活動が展開された。 | 前年度の取組みを土台に、さらなる修正を加え児童・生徒や地域の実態を踏まえた教育活動が展開された。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check(評価)**

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目           | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|--------------|---|------------------------------|------|
| 妥当性<br>(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性<br>(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性<br>(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

|   |   |                |  |                        |   |                      |   |                |  |                        |  |                      |  |         |
|---|---|----------------|--|------------------------|---|----------------------|---|----------------|--|------------------------|--|----------------------|--|---------|
| 【今後の方向性】  |   | 高 [妥当性・有効性]    | 今後の方向性                                 |                        |   |                      |   |                |  |                        |  |                      |  |         |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">↑</td> <td></td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;">高 [効率性]</td> </tr> </table> |   | ↑              |  |                        | ↓ | 低                    | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> | B:事業の進め方の改善の検討 | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |  | 高 [効率性] |
| ↑   |   | ↓              |  |                        |   |                      |   |                |  |                        |  |                      |  |         |
| 低   | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> | B:事業の進め方の改善の検討 | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |   | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |   | 高 [効率性]        |  |                        |  |                      |  |         |
| B:事業の進め方の改善の検討  | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当  |                |  |                        |   |                      |   |                |  |                        |  |                      |  |         |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討  |   |                |  |                        |   |                      |   |                |  |                        |  |                      |  |         |
| D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討  |   |                |  |                        |   |                      |   |                |  |                        |  |                      |  |         |
|   |   | 低              |  |                        |   |                      |   |                |  |                        |  |                      |  |         |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)  
 児童・生徒や地域の実態及び喫緊の教育課題等を踏まえた施策を各校が展開していく。



平成28年度 【基本シート】

|              |              |         |       |           |        |
|--------------|--------------|---------|-------|-----------|--------|
| 1.基本項目       |              | 作成部署    | 生涯学習部 |           | 学校教育課  |
| 事業名          |              | 開始年度    | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法   |
| 4 学習サポーターの充実 |              | 平成 17 年 | 継続    | 自治事務(市独自) | 直営     |
| 01           |              | 年       |       |           |        |
| 02           |              | 年       |       |           |        |
| 03           |              | 年       |       |           |        |
| 04           |              | 年       |       |           |        |
| 05           |              | 年       |       |           |        |
| 関連課          |              |         |       |           |        |
| 基本目標 1       | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分    | 3     | 学校教育      | 事業番号 3 |

2.事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業内容 | 学習サポーターの配置により、小中学校における児童の学校生活習慣の指導及び学習指導等の支援を充実します。 |
| 根拠法令 |   |
| 条例   |   |
| 要綱等  | 羽村市立小学校学習サポーター設置要綱                                  |

3.成果指標

|      |   |
|------|---|
| 成果目標 | 各教科において設定した評価規準を達成できる授業を日常的に展開できるようにするとともに、国及び東京都が実施する学力調査において、すべての教科において設定された正答率及び平均正答率を上回る結果をめざす。 |
|------|---|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)                                   | 3か年計画  |        |   |
|--------------|--|--------|--------|---|
|              |  | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度  |
| 事業内容<br>事業量等 | 小学校7校での生活習慣指導及び学習指導の支援<br>1日4時間、週5日、各小学校1人配置 | 同左     | 同左     | 小中学校10校での生活習慣指導及び学習指導の支援<br>1日6時間、週5日、各小中学校1人配置 |
|              | 学カステップアップ推進地域指定事業 算数・数学学習サポーターの配置            | 同左     | 同左     |   |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 160H | 1人     | 160H | 1人     | 160H | 1人     | 160H |
| 主事・主任職 | 0人         | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   |

②総事業費

| 事業費の内訳(単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費           | 13,293     | 11,367 | 11,367 | 13,260 |
| 人件費(係長職)      | 807        | 796    | 796    | 796    |
| 人件費(主任・主事職)   | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 総事業費(合計)      | 14,100     | 12,163 | 12,163 | 14,056 |
| 国庫支出金         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金          | 7,140      | 5,096  | 5,096  | 0      |
| 受益者負担額        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債            | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)   | 6,960      | 7,067  | 7,067  | 14,056 |
| 財源内訳(合計)      | 14,100     | 12,163 | 12,163 | 14,056 |

③コスト計算

|       |        |                  |       |   |
|-------|--------|------------------|-------|---|
| ア 市民  | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 216   | 円 |
| イ 対象者 | 4448   | 人における1人あたりのコストは、 | 2,734 | 円 |
| ウ 成果物 |        | の出来高             |       | 円 |

※ 対象者: 小中学校の児童・生徒

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

各小学校に学習サポーターを配置し、授業改善推進プランに基づいた学習指導等、児童が在籍する学級担任教諭等に対する助言並びに支援を行った。

②投入実績

| 決算の内訳(単位:円) | 予算額(当初)    | 補正・流用額 | 予算額(最終)    | 決算額        | 執行率    |
|-------------|------------|--------|------------|------------|--------|
| 事業費         | 11,367,000 |        | 11,367,000 | 11,367,000 | 100.0% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)  | 今年度(どういう状態になったか)                           |
|--|--|
| 平成27年度『学力向上を図るための調査』都平均においては、中学校(国、社、数、理、英)では達成できたが、小学校(国、社、算、理)は下回った。 | 平成28年度『学力向上を図るための調査』都平均においては、小・中学校ともに下回った。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check【評価】**

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

△・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点)

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつか、事業の必要性はあるか         | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】    |         | 今後の方向性 |
|-------------|---------|--------|
| 高 [妥当性・有効性] | ↑       | A      |
| 低           | ↓       |        |
| ←           | → [効率性] |        |
| 低           | 高       |        |

B:事業の進め方の改善の検討      A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当

C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討

D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)

引続き、各小学校に学習サポーターを配置し、授業改善推進プランに基づいた学習指導等、児童が在籍する学級担任教諭等に対する助言並びに支援を行う。  
 今後は、学習サポーターの中学校配置の検討及び配置時間の拡大等を検討する。

平成28年度 【基本シート】

|                |       |              |       |           |       |
|----------------|-------|--------------|-------|-----------|-------|
| 1.基本項目         |       | 作成部署         | 生涯学習部 |           | 教育支援課 |
| 事業名            |       | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法  |
| 5 特別支援教育支援員の充実 |       | 平成 19 年      | 継続    | 自治事務(市独自) | 直営    |
| 01             |       | 年            |       |           |       |
| 02             |       | 年            |       |           |       |
| 03             |       | 年            |       |           |       |
| 04             |       | 年            |       |           |       |
| 05             |       | 年            |       |           |       |
| 関連課            | 学校教育課 |              |       |           |       |
| 基本目標           | 1     | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3         | 学校教育  |
|                |       |              |       | 事業番号      | 4     |

2.事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業内容 | 通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童・生徒への支援を充実するため、教員の資格を有する特別支援教育支援員を小学校全校及び中学校へ拡大して配置・活用します。 |
| 根拠法令 |   |
| 条例   |   |
| 要綱等  | 羽村市特別支援教育支援員設置要綱  |

3.成果指標

|      |  |
|------|--|
| 成果目標 | 市内小中学校において、在籍校における発達障害等への支援体制の整備充実を図る。 |
|------|--|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)  | 3か年計画   |   |   |
|--------------|---|---|---|---|
|              |   | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |
| 事業内容<br>事業量等 | 特別支援教育支援員を全小学校7校へ配置 1日6時間、週5日<br><br>特別支援教育支援員を二中に試行的に配置・検証 1日6時間、週3日 | 特別支援教育支援員を全小学校7校に配置及び必要に応じて2人配置 1日6時間、週5日<br><br>二中に配置・検証 1日6時間、週4日 | 特別支援教育支援員を全小学校7校に配置及び必要に応じて2人配置 1日6時間、週5日<br><br>中学校3校に配置 1日6時間、週4日 | 特別支援教育支援員を全小中学校10校へ配置及び小学校は必要に応じて2人配置 1日6時間、週5日 |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 80 H | 1人     | 80 H | 1人     | 80 H | 1人     | 80 H |
| 主事・主任職 | 1人         | 96 H | 1人     | 96 H | 1人     | 96 H | 1人     | 96 H |

②総事業費

| 事業費の内訳(単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費           | 10,763     | 13,845 | 16,046 | 17,146 |
| 人件費(係長職)      | 404        | 398    | 398    | 398    |
| 人件費(主任・主事職)   | 346        | 327    | 327    | 327    |
| 総事業費(合計)      | 11,513     | 14,570 | 16,771 | 17,871 |
| 国庫支出金         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債            | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)   | 11,513     | 14,570 | 16,771 | 17,871 |
| 財源内訳(合計)      | 11,513     | 14,570 | 16,771 | 17,871 |

③コスト計算

|        |        |                  |     |        |
|--------|--------|------------------|-----|--------|
| ア 市民   | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 259 | 円      |
| イ 対象者  |        | 人における1人あたりのコストは、 |     | 円      |
| ウ 成果物  |        | の 出来高            |     | の コストは |
| ※ 対象者: |        |                  |     | 円      |

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

市内小学校通常の学級に在籍する児童で発達障害等があり、特別な支援が必要な児童への支援を充実させるため、特別支援教育支援員を週5日(1日6時間)で各小学校へ配置した。さらに、学校長の要請により配置できる支援員を2名増員し対応し、早期支援ができる体制にした。また、中学校へは羽村第二中学校へ週3日(1日6時間)特別支援教育支援員を配置した。

②投入実績

| 決算の内訳(単位:円) | 予算額(当初)    | 補正・流用額 | 予算額(最終)    | 決算額        | 執行率   |
|-------------|------------|--------|------------|------------|-------|
| 事業費         | 13,845,000 | 0      | 13,845,000 | 12,159,910 | 87.8% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)   | 今年度(どういう状態になったか)  |
|---|---|
| 支援員の配置により、市内小中学校に在籍する発達障害等のある児童・生徒に対し、効果的な指導を提供することができた。また、学校運営全体としても有効なものとなった。 | 支援員の配置により、市内小中学校に在籍する発達障害等のある児童・生徒に対し、効果的な指導を提供することができた。また、学校運営全体としても有効なものとなった。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check(評価)**

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目           | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|--------------|---|------------------------------|------|
| 妥当性<br>(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性<br>(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性<br>(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】    |         | 今後の方向性 |
|-------------|---------|--------|
| 高 [妥当性・有効性] | ↑       | A      |
| 低           | ↓       |        |
| ←           | → [効率性] |        |
| 低           | 高       |        |

B:事業の進め方の改善の検討    A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当

C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討    D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)  
 通常の学級に在籍する発達障害等を抱える児童・生徒は増加傾向にあり、状況等に応じた特別支援教育支援員の配置により、各小中学校の対象となる児童・生徒において効率的かつ効果的な指導を提供することができた。今後は平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行されたことにより、障害を理由とする不当な差別的な取扱いの禁止や本人の求めに応じて合理的な配慮を行うことが義務付けられたため、より特別支援教育への多様なニーズに対応していくためにも、現行の人数以上の人的配慮が必要になる。

平成28年度 【基本シート】

|        |               |         |       |      |       |      |
|--------|---------------|---------|-------|------|-------|------|
| 1.基本項目 |               | 作成部署    | 生涯学習部 |      | 教育支援課 |      |
| 事業名    |               | 開始年度    | 実施期間  | 事業種別 | 運営手法  | 進行管理 |
| 6      | 特別支援教室の設置     | 平成 24 年 | 継続    | 自治事務 | 直営    |      |
|        | 01            | 年       |       |      |       |      |
|        | 02            | 年       |       |      |       |      |
|        | 03            | 年       |       |      |       |      |
|        | 04            | 年       |       |      |       |      |
|        | 05            | 年       |       |      |       |      |
| 関連課    | 学校教育課・生涯学習総務課 |         |       |      |       |      |
| 基本目標 1 | 生涯を通じて学び育つまち  | 施策区分    | 3     | 学校教育 | 事業番号  | 12   |

2.事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業内容 | 特別な支援を必要とする児童及び生徒が、在籍校で適切な指導と必要な支援が受けられるよう、特別支援教室を設置します。 |
| 根拠法令 |  |
| 条例   |  |
| 要綱等  |  |

3.成果指標

|      |   |
|------|---|
| 成果目標 | 市内全小中学校で、在籍校における発達障害（高機能自閉症・学習障害・アスペルガー症候群・ADHD）及び疑いのある児童の支援体制の整備を行う。<br>・在籍校での集団適応能力や学力等の伸長を図る。<br>・在籍学級担任との連携が図られ、指導内容の充実を図る。 |
|------|---|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)                               | 3か年計画                            |              |              |
|--------------|--|----------------------------------|--------------|--------------|
|              |  | 平成28年度                           | 平成29年度       | 平成30年度       |
| 事業内容<br>事業量等 | 特別支援教室試行 全小学校7校<br><br>全中学校へ巡回指導実施に向けて準備 | 特別支援教室本格実施 全小学校7校へ巡回指導<br><br>同左 | 同左<br><br>同左 | 同左<br><br>同左 |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |       | 平成28年度 |       | 平成29年度 |       | 平成30年度 |       |
|--------|------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
|        | 人数         | 概算時間  | 人数     | 概算時間  | 人数     | 概算時間  | 人数     | 概算時間  |
| 係長職    | 1人         | 320 H | 1人     | 320 H | 1人     | 320 H | 1人     | 320 H |
| 主事・主任職 | 1人         | 160 H | 1人     | 160 H | 1人     | 160 H | 1人     | 160 H |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 2,400      | 894    | 818    | 818    |
| 人件費(係長職)       | 1,613      | 1,592  | 1,592  | 1,592  |
| 人件費(主任・主事職)    | 576        | 544    | 544    | 544    |
| 総事業費(合計)       | 4,589      | 3,030  | 2,954  | 2,954  |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 1,984      | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 2,605      | 3,030  | 2,954  | 2,954  |
| 財源内訳(合計)       | 4,589      | 3,030  | 2,954  | 2,954  |

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果物  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:



**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

平成28年4月から全小学校7校において「特別支援教室」事業が本格実施され、在籍校における発達障害(自閉症・学習障害・アスペルガー症候群・ADHD)及びその傾向のある児童の支援体制の整備と指導の充実を図った。

②投入実績

| 決算の内訳(単位:円) | 予算額(当初) | 補正・流用額 | 予算額(最終) | 決算額     | 執行率   |
|-------------|---------|--------|---------|---------|-------|
| 事業費         | 894,000 |        | 894,000 | 561,053 | 62.8% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)                               | 今年度(どういう状態になったか)   |
|---|--|
| 特別支援教室モデル事業の実施、検証、報告のため、全小学校7校で巡回指導を実施した。 | 平成28年4月から全小学校7校において「特別支援教室」事業が本格実施。特別支援教室の指導を受ける児童が増加。在籍校において支援を受け、適応が図られてきている児童が増加している。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

⇒

**Check(評価)**

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】  | 高 [妥当性・有効性]                            | 今後の方向性                                 |                        |  |                      |  |         |   |
|---|--|--|------------------------|--|----------------------|--|---------|---|
| <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> | B:事業の進め方の改善の検討                         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |  | 高 [効率性] | A |
| B:事業の進め方の改善の検討  | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 |  |                        |  |                      |  |         |   |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討  |  |  |                        |  |                      |  |         |   |
| D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討  |  |  |                        |  |                      |  |         |   |
|   | ↑                                      |  |                        |  |                      |  |         |   |
|   | ↓                                      |  |                        |  |                      |  |         |   |
|   | 低                                      |  |                        |  |                      |  |         |   |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)  
 今後は、中学校における特別支援教育をより一層推進していくために、通級指導学級が設置されていない羽村第二中学校において巡回指導を行えるよう検討・試行をしていく必要がある。

平成28年度 【基本シート】

|            |    |              |       |           |       |      |    |
|------------|----|--------------|-------|-----------|-------|------|----|
| 1.基本項目     |    | 作成部署         | 生涯学習部 |           | 学校教育課 |      |    |
| 事業名        |    | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法  | 進行管理 |    |
| 7 職層研修等の実施 |    | 不明           | 年 継続  | 自治事務(市独自) | 直営    |      |    |
|            | 01 |              | 年     |           |       |      |    |
|            | 02 |              | 年     |           |       |      |    |
|            | 03 |              | 年     |           |       |      |    |
|            | 04 |              | 年     |           |       |      |    |
|            | 05 |              | 年     |           |       |      |    |
| 関連課        |    |              |       |           |       |      |    |
| 基本目標       | 1  | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3         | 学校教育  | 事業番号 | 11 |

2.事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業内容 | 教職員がライフステージに応じて求められる資質・能力を身に付けるため研修を実施します。 |
| 根拠法令 |  |
| 条例   |  |
| 要綱等  |  |

3.成果指標

|      |  |
|------|--|
| 成果目標 | 東京都の実施する管理職育成に向けた諸研修との連携を図り、ライフステージや職層に応じた研修を実施する。 |
|------|--|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)   | 3か年計画  |        |        |
|--------------|--|--------|--------|--------|
|              |  | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事業内容<br>事業量等 | ミドルリーダー育成研修<br>年4回<br>若手教員育成研修修了者<br>対象            | 同左 4回  | 同左 4回  | 同左 4回  |
|              | 学校リーダー研修 学校マ<br>ネージメント講座 9回<br>主任教諭・主幹教諭・管理<br>職対象 | 同左 9回  | 同左 9回  | 同左 9回  |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 0人         | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   |
| 主事・主任職 | 1人         | 1H   | 1人     | 1H   | 1人     | 1H   | 1人     | 1H   |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 30         | 30     | 30     | 30     |
| 人件費(係長職)       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 人件費(主任・主事職)    | 4          | 4      | 4      | 4      |
| 総事業費(合計)       | 34         | 34     | 34     | 34     |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 34         | 34     | 34     | 34     |
| 財源内訳(合計)       | 34         | 34     | 34     | 34     |

③コスト計算

|                |        |                  |     |   |
|----------------|--------|------------------|-----|---|
| ア 市民           | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 |     | 円 |
| イ 対象者          | 259    | 人における1人あたりのコストは、 | 131 | 円 |
| ウ 成果物          |        | の 出来高            |     | 円 |
| ※ 対象者: 小中学校教員数 |        |                  |     | 円 |

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

学校教育の充実には、教員の資質向上を図ることが極めて重要であるため、教員向け研修の充実を図った。

②投入実績

| 決算の内訳(単位:円) | 予算額(当初) | 補正・流用額 | 予算額(最終) | 決算額    | 執行率   |
|-------------|---------|--------|---------|--------|-------|
| 事業費         | 30,000  |        | 30,000  | 20,000 | 66.7% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)                                       | 今年度(どういう状態になったか)                                       |
|---|--|
| ミドルリーダー育成研修会4回、学校リーダー研修(校長、副校長、主幹教諭、主任教諭)21回実施した。 | 今年度は、ミドルリーダー育成研修会4回、学校リーダー研修(校長、副校長、主幹教諭、主任教諭)23回実施した。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物)      | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|-------------|---------|---------|
| ミドルリーダー育成研修 | 4回      | 4回      |
| 学校リーダー研修    | 9回      | 23回     |

**Check【評価】**

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】    |         | 今後の方向性 |
|-------------|---------|--------|
| 高 [妥当性・有効性] |         | A      |
| ↑           | ↑       |        |
| 低           | 高 [効率性] |        |
| 低           |         |        |

B:事業の進め方の改善の検討    A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当

C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討    D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

|   |
|---|
| 評価(所管課長)<br>今後も各校の実態及び喫緊の教育課題等を踏まえた研修を展開していく。 |
|---|

平成28年度 【基本シート】

|        |                  |              |       |      |       |      |   |
|--------|------------------|--------------|-------|------|-------|------|---|
| 1.基本項目 |                  | 作成部署         | 生涯学習部 |      | 教育支援課 |      |   |
| 事業名    |                  | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別 | 運営手法  | 進行管理 |   |
| 8      | スクールソーシャルワーカーの充実 | 平成 20 年      | 継続    | 自治事務 | 直営    |      |   |
|        | 01               | 年            |       |      |       |      |   |
|        | 02               | 年            |       |      |       |      |   |
|        | 03               | 年            |       |      |       |      |   |
|        | 04               | 年            |       |      |       |      |   |
|        | 05               | 年            |       |      |       |      |   |
| 関連課    | 学校教育課・子育て支援課     |              |       |      |       |      |   |
| 基本目標   | 1                | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3    | 学校教育  | 事業番号 | 5 |

2.事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業内容 | スクールソーシャルワーカーを増員し、健全育成上の課題等に関係機関と連携して働きかけるなどの支援の充実を図ります。 |
| 根拠法令 |  |
| 条例   |  |
| 要綱等  |  |

3.成果指標

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 成果目標 | 虐待や家庭に起因する児童・生徒の問題行動等の課題の円滑な解決ができる。 |
|------|-------------------------------------|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)                       | 3か年計画          |                |        |
|--------------|----------------------------------|----------------|----------------|--------|
|              |                                  | 平成28年度         | 平成29年度         | 平成30年度 |
| 事業内容<br>事業量等 | スクールソーシャルワーカーによる家庭支援<br>年144日×1人 | 同左<br>年104日×2人 | 同左<br>年144日×2人 | 同左     |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 0人         | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   |
| 主事・主任職 | 1人         | 16H  | 1人     | 16H  | 1人     | 16H  | 1人     | 16H  |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 1,440      | 2,122  | 2,880  | 2,880  |
| 人件費(係長職)       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 人件費(主任・主事職)    | 58         | 55     | 55     | 55     |
| 総事業費(合計)       | 1,498      | 2,177  | 2,935  | 2,935  |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 720        | 1,061  | 1,468  | 1,468  |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 778        | 1,116  | 1,467  | 1,467  |
| 財源内訳(合計)       | 1,498      | 2,177  | 2,935  | 2,935  |

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果物  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

社会福祉士等の資格を持ったスクールソーシャルワーカーを、校区に分けた(一中校区・二、三中校区)配置を行い、小・中学校からの積極的な要望に応じて、課題のある児童・生徒の情報を学校と共有し、保護者や児童と面接を行うと伴に、学校内外の関係機関との連絡調整を図り、児童・生徒の生活環境の改善に努めた。

②投入実績

| 決算の内訳(単位:円) | 予算額(当初)   | 補正・流用額 | 予算額(最終)   | 決算額       | 執行率   |
|-------------|-----------|--------|-----------|-----------|-------|
| 事業費         | 2,122,000 |        | 2,122,000 | 1,535,408 | 72.4% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)                                       | 今年度(どういう状態になったか)                                     |
|---|--|
| 不登校等の児童・生徒への対応を図った。<br>支援対象となった人数<br>小学校7人 中学校11人 | 不登校等の児童・生徒への対応充実を図った。<br>支援対象となった人数<br>小学校14人 中学校19人 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check(評価)**

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】               |  | 今後の方向性 |
|------------------------|--|--------|
| 高 [妥当性・有効性]            |  | A      |
| ↑                      | 高 [効率性]                                |        |
| 低                      | 低                                      |        |
| ←                      | →                                      |        |
| B:事業の進め方の改善の検討         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 |        |
| ←                      | →                                      |        |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討                   |        |
| ↓                      | ↓                                      |        |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)  |
|---|
| 社会福祉士等の資格を持ったスクールソーシャルワーカーを1名増員配置したことにより、より多くの児童・生徒の家庭訪問等の機会を増やし、学校だけでは解決できない家庭等における課題のある児童・生徒の情報を学校と共有し、保護者や児童・生徒と面接を行うと伴に、学校内外の関係機関との連絡調整を図り、児童・生徒の生活環境の改善を図ることができた。今後も、家庭環境等に起因する長期欠席児童・生徒の対応を行うことで、小・中学校の不登校(傾向)児童・生徒への支援の充実に努める。 |



平成28年度 【基本シート】

|        |                 |              |       |      |       |      |   |
|--------|-----------------|--------------|-------|------|-------|------|---|
| 1.基本項目 |                 | 作成部署         | 生涯学習部 |      | 教育支援課 |      |   |
| 事業名    |                 | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別 | 運営手法  | 進行管理 |   |
| 9      | 教育相談員による巡回相談の充実 | 平成 25 年      | 継続    | 自治事務 | 直営    |      |   |
|        | 01              | 年            |       |      |       |      |   |
|        | 02              | 年            |       |      |       |      |   |
|        | 03              | 年            |       |      |       |      |   |
|        | 04              | 年            |       |      |       |      |   |
|        | 05              | 年            |       |      |       |      |   |
| 関連課    | 学校教育課           |              |       |      |       |      |   |
| 基本目標   | 1               | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3    | 学校教育  | 事業番号 | 6 |

2.事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業内容 | きめ細かな教育相談体制を構築していくため、スクールカウンセラーの全校配置に加え、教育相談員による小中学校への特別支援教育に関する巡回相談を充実します。 |
| 根拠法令 |   |
| 条例   |   |
| 要綱等  |   |

3.成果指標

|      |  |
|------|--|
| 成果目標 | 市内全・中学校で、きめ細かな教育相談体制の整備を行うとともに、特別支援教室の活用及び適正就学につながる適切な就学相談を実施する。 |
|------|--|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)                 | 3か年計画  |                           |                               |
|--------------|----------------------------|--------|---------------------------|-------------------------------|
|              |                            | 平成28年度 | 平成29年度                    | 平成30年度                        |
| 事業内容<br>事業量等 | 全小中学校10校へのスクールカウンセラー 週1日   | 同左     | 同左                        | 同左                            |
|              | 全小学校7校への特別支援教育に関する巡回相談 週1回 | 同左     | 同左                        | 同左                            |
|              | 全中学校3校への特別支援教育に関する巡回相談の検討  | 同左     | 全中学校3校への特別支援教育に関する巡回相談の試行 | 全中学校3校への特別支援教育に関する巡回相談の実施 週1回 |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 32 H | 1人     | 32 H | 1人     | 32 H | 1人     | 32 H |
| 主事・主任職 | 1人         | 96 H | 1人     | 96 H | 1人     | 96 H | 1人     | 96 H |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 16,778     | 17,024 | 19,736 | 19,736 |
| 人件費(係長職)       | 162        | 160    | 160    | 160    |
| 人件費(主任・主事職)    | 346        | 327    | 327    | 327    |
| 総事業費(合計)       | 17,286     | 17,511 | 20,223 | 20,223 |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 17,286     | 17,511 | 20,223 | 20,223 |
| 財源内訳(合計)       | 17,286     | 17,511 | 20,223 | 20,223 |

③コスト計算

|        |        |                  |     |        |
|--------|--------|------------------|-----|--------|
| ア 市民   | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 311 | 円      |
| イ 対象者  |        | 人における1人あたりのコストは、 |     | 円      |
| ウ 成果物  |        | の 出来高            |     | の コストは |
| ※ 対象者: |        |                  |     | 円      |

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか)

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

東京都のスクールカウンセラー事業の活用や教育相談室の相談員を全小学校に週1回、全中学校に月1回配置している。学校という身近なところでの相談場所を確保したことにより、児童・生徒・教員からの相談に応じることができた。

②投入実績

| 決算の内訳(単位:円) | 予算額(当初)    | 補正・流用額 | 予算額(最終)    | 決算額        | 執行率   |
|-------------|------------|--------|------------|------------|-------|
| 事業費         | 17,024,000 |        | 17,024,000 | 16,462,970 | 96.7% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)  | 今年度(どういう状態になったか)  |
|--|---|
| <b>【スクールカウンセラー】</b><br>小学校巡回相談件数 3,806件<br>中学校巡回相談件数 1,264件<br><b>【教育相談室相談員】</b><br>小学校巡回相談件数 2,413件 | <b>【スクールカウンセラー】</b> 週1回訪問<br>小学校巡回相談件数 4,398件<br>中学校巡回相談件数 900件<br><b>【教育相談室相談員】</b> 小学校 週1回 中学校 月1回訪問<br>小学校巡回相談件数 2,539件<br>中学校への巡回 授業観察・教員との情報交換 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check【評価】**

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

8.評価

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目           | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|--------------|---|------------------------------|------|
| 妥当性<br>(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性<br>(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性<br>(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】  | 高 [妥当性・有効性]                            | 今後の方向性                                 |                        |  |                      |  |  |   |
|---|--|--|------------------------|--|----------------------|--|--|---|
| 低 ← <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> → 高 [効率性] | B:事業の進め方の改善の検討                         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |  |  | A |
| B:事業の進め方の改善の検討  | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 |  |                        |  |                      |  |  |   |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討  |  |  |                        |  |                      |  |  |   |
| D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討  |  |  |                        |  |                      |  |  |   |
|   | ↑                                      |  |                        |  |                      |  |  |   |
|   | ↓                                      |  |                        |  |                      |  |  |   |
|   | 低                                      |  |                        |  |                      |  |  |   |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)   |
|--|
| 東京都スクールカウンセラー事業の活用や教育相談室の相談員を全小学校に週1回配置することにより、身近な場所で、児童・生徒・教員が相談できる体制を確保できている。また、中学校において教育相談室の相談員を月1回派遣をし、授業観察や教員との情報交換をすることにより、特別支援教育に関する学級での配慮について具体的に検討することができた。 |

平成28年度 【基本シート】

|        |                 |              |       |           |       |        |
|--------|-----------------|--------------|-------|-----------|-------|--------|
| 1.基本項目 |                 | 作成部署         | 生涯学習部 |           | 教育支援課 |        |
| 事業名    |                 | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法  | 進行管理   |
| 10     | 中学校不登校等対応指導員の配置 | 平成10年        | 継続    | 自治事務(市独自) | 直営    |        |
|        | 01              | 年            |       |           |       |        |
|        | 02              | 年            |       |           |       |        |
|        | 03              | 年            |       |           |       |        |
|        | 04              | 年            |       |           |       |        |
|        | 05              | 年            |       |           |       |        |
| 関連課    | 学校教育課           |              |       |           |       |        |
| 基本目標   | 1               | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3         | 学校教育  | 事業番号 7 |

2.事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業内容 | 中学校不登校等対応指導員の配置により、中学校で集団生活になじめない生徒や不登校の生徒を支援します。 |
| 根拠法令 |   |
| 条例   |   |
| 要綱等  |   |

3.成果指標

|      |                        |
|------|------------------------|
| 成果目標 | 中学校における不登校生徒の出現率が減少する。 |
|------|------------------------|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)                  | 3か年計画  |        |        |
|--------------|-----------------------------|--------|--------|--------|
|              |                             | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事業内容<br>事業量等 | 学校適応指導教室に指導員を配置 月16日        | 同左     | 同左     | 同左     |
|              | 各中学校3校への巡回訪問<br>※指導員は東京都の雇用 | 同左     | 同左     | 同左     |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 0人         | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   |
| 主事・主任職 | 1人         | 96H  | 1人     | 96H  | 1人     | 96H  | 1人     | 96H  |

②総事業費

| 事業費の内訳(単位:千円)   | 平成27年度(現況) | 平成28年度     | 平成29年度     | 平成30年度     |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|
| 事業費             | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 人件費(係長職)        | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 人件費(主任・主事職)     | 346        | 327        | 327        | 327        |
| <b>総事業費(合計)</b> | <b>346</b> | <b>327</b> | <b>327</b> | <b>327</b> |
| 国庫支出金           | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 都支出金            | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 受益者負担額          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| その他特定財源         | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 一般会計繰入金         | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 起債              | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 一般財源(人件費含む)     | 346        | 327        | 327        | 327        |
| <b>財源内訳(合計)</b> | <b>346</b> | <b>327</b> | <b>327</b> | <b>327</b> |

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果物  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

小・中学校で集団になじめない児童・生徒や不登校の児童・生徒を支援していくために、不登校対応指導員を配置し、学校適応指導教室での指導を実施した。

②投入実績

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初) | 補正・流用額 | 予算額(最終) | 決算額 | 執行率 |
|--------------|---------|--------|---------|-----|-----|
| 事業費          | 0       |        | 0       |     | -   |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)  | 今年度(どういう状態になったか)   |
|--|--|
| 不登校児童・生徒の学校生活への復帰に向けた指導を実施したが、不登校出現率が依然としてあり、平成27年度 3.81%で増加傾向にある。 | 不登校児童・生徒以外にも別室(保健室)登校等、集団になじめない児童・生徒についても学級復帰に向けた指導を実施した。<br>中学校における不登校生徒出現率は平成28年度3.83%で増加した。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check(評価)**

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】   | 高 [妥当性・有効性]            | 高 [効率性]                                | 今後の方向性                                 |   |  |                        |  |  |  |                      |  |  |  |  |   |
|--|------------------------|--|--|---|--|------------------------|--|--|--|----------------------|--|--|--|--|---|
| <table border="1"> <tr> <td>低</td> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 低                      | B:事業の進め方の改善の検討                         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | 高 |  | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  |  |  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |  |  |  |  | A |
| 低  | B:事業の進め方の改善の検討         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | 高                                      |   |  |                        |  |  |  |                      |  |  |  |  |   |
|  | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  |  |   |  |                        |  |  |  |                      |  |  |  |  |   |
|  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討   |  |  |   |  |                        |  |  |  |                      |  |  |  |  |   |
|  | ↑                      |  |  |   |  |                        |  |  |  |                      |  |  |  |  |   |
|  | ↓                      |  |  |   |  |                        |  |  |  |                      |  |  |  |  |   |
|  | 低                      |  |  |   |  |                        |  |  |  |                      |  |  |  |  |   |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)   |
|--|
| 基本計画を策定した平成24年当時に比べて、子どもを取り巻く環境の複雑化などにより中学校における不登校率は増加傾向にあり、当初目標(出現率2%)は達成されていないが、小・中学校で集団になじめない児童・生徒や不登校の児童・生徒を支援していくうえで不登校対応指導員の配置は有効である。、今後も、不登校対応指導員を配置し、学校復帰への指導が必要である。 |

平成28年度 【基本シート】

|        |              |              |       |      |       |        |
|--------|--------------|--------------|-------|------|-------|--------|
| 1.基本項目 |              | 作成部署         | 生涯学習部 |      | 学校教育課 |        |
| 事業名    |              | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別 | 運営手法  | 進行管理   |
| 11     | 教育用コンピュータの更新 | 年            |       |      |       |        |
|        | 01           | 年            |       |      |       |        |
|        | 02           | 年            |       |      |       |        |
|        | 03           | 年            |       |      |       |        |
|        | 04           | 年            |       |      |       |        |
|        | 05           | 年            |       |      |       |        |
| 関連課    |              |              |       |      |       |        |
| 基本目標   | 1            | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3    | 学校教育  | 事業番号 8 |

2.事業の概要

|      |                        |
|------|------------------------|
| 事業内容 | 教育用コンピュータの更新を計画的に行います。 |
| 根拠法令 |                        |
| 条例   |                        |
| 要綱等  |                        |

3.成果指標

|      |                   |
|------|-------------------|
| 成果目標 | 児童生徒の情報活用能力育成を図る。 |
|------|-------------------|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)   | 3か年計画                                      |   |   |
|--------------|--------------|--|---|---|
|              |              | 平成28年度                                     | 平成29年度  | 平成30年度  |
| 事業内容<br>事業量等 | 教育用コンピュータの活用 | 同左<br>平成24年度導入校の更新<br>準備 羽村西・栄・武蔵野<br>小、三中 | 同左<br>平成24年度導入校の更新<br>羽村西・栄・武蔵野小、三<br>中<br>平成25年度導入校の更新<br>準備 羽村東・富士見・松<br>林・小作台小、一中・二中 | 同左<br>平成25年度導入校の更新<br>羽村東・富士見・松林・小<br>作台小学校、一中・二中 |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 0人         | 0H   | 1人     | 480H | 1人     | 384H | 1人     | 384H |
| 主事・主任職 | 1人         | 480H | 0人     | 0H   | 1人     | 96H  | 1人     | 96H  |

②総事業費

| 事業費の内訳(単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費           | 35,446     | 35,446 | 35,446 | 35,446 |
| 人件費(係長職)      | 0          | 2,388  | 1,911  | 1,911  |
| 人件費(主任・主事職)   | 1,728      | 0      | 327    | 327    |
| 総事業費(合計)      | 37,174     | 37,834 | 37,684 | 37,684 |
| 国庫支出金         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源       | 35,446     | 35,446 | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債            | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)   | 1,728      | 2,388  | 37,684 | 37,684 |
| 財源内訳(合計)      | 37,174     | 37,834 | 37,684 | 37,684 |

③コスト計算

|       |        |                  |       |   |
|-------|--------|------------------|-------|---|
| ア 市民  | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 672   | 円 |
| イ 対象者 | 4448   | 人における1人あたりのコストは、 | 8,506 | 円 |
| ウ 成果物 |        | の出来高             |       | 円 |

※ 対象者: 小中学校児童・生徒



**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

平成28年度において、平成29年度の教育用コンピューターの機器の更新について更新準備を行った。

検討の結果、平成24年度に導入した教育用コンピューターについては、平成29年12月31日の賃貸借期間満了後も1年間は保守を延長して使用可能であることが確認できたため、1年間の再リースを行い、平成30年度と31年度に更新をするよう計画を変更した。

**②投入実績**

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初)    | 補正・流用額 | 予算額(最終)    | 決算額        | 執行率    |
|--------------|------------|--------|------------|------------|--------|
| 事業費          | 35,446,000 | 0      | 35,446,000 | 35,445,060 | 100.0% |

**7.成果結果**

**①活動、投入実績から生じた成果(物)**

| 前年度(今までの状況)   | 今年度(どういう状態になったか)   |
|---|--|
| 授業で効果的に活用することにより、学習への興味や関心を高め、情報や情報手段を主体的に活用し、情報活用能力の向上へとつながった。 | 教育用コンピューターについて、更新計画を見直すとともに、授業で効果的に活用し、児童生徒の学習への興味や関心を高め、情報活用能力の向上へとつながった。 |

**②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合**

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

⇒

**Check【評価】**

**8.評価**

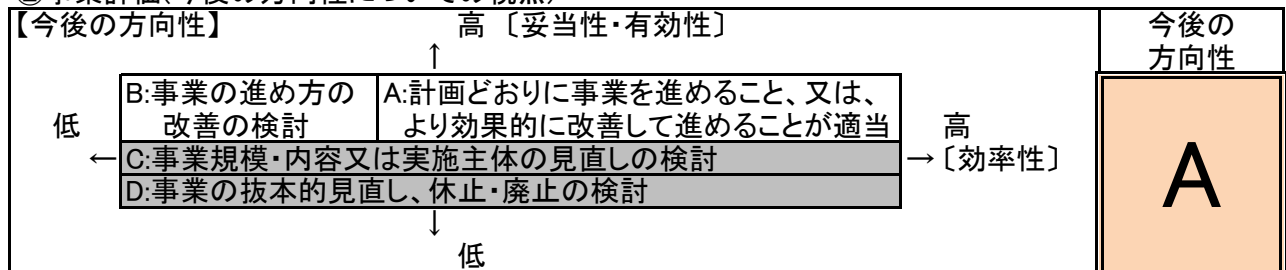
◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

**②事業評価(今後の方向性についての視点)**



**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)  |
|---|
| パソコン機器をより広くより効果的に授業で活用し、児童生徒の情報活用能力をの育成を図る。<br>平成30年度に計画を変更した平成24年度導入校の教育用コンピューターの更新等について、平成29年度に検討し、ICT整備計画を策定することにより計画的に実施していく。 |

平成28年度 【基本シート】

|        |                  |              |           |           |          |        |
|--------|------------------|--------------|-----------|-----------|----------|--------|
| 1.基本項目 |                  | 作成部署         | 生涯学習部     |           |          | 学校教育課  |
| 事業名    |                  | 開始年度         | 実施期間      | 事業種別      | 運営手法     | 進行管理   |
| 12     | 学校図書館総合管理システムの拡大 | 平成 26 年      | 長期総合計画終了迄 | 自治事務(市独自) | 業務委託(全部) | ○      |
|        | 01               | 年            |           |           |          |        |
|        | 02               | 年            |           |           |          |        |
|        | 03               | 年            |           |           |          |        |
|        | 04               | 年            |           |           |          |        |
|        | 05               | 年            |           |           |          |        |
| 関連課    |                  | 図書館          |           |           |          |        |
| 基本目標   | 1                | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分      | 3         | 学校教育     | 事業番号 9 |

2.事業の概要

|      |                       |  |  |  |  |
|------|-----------------------|--|--|--|--|
| 事業内容 | 学校図書館の蔵書管理の電子化を推進します。 |  |  |  |  |
| 根拠法令 |                       |  |  |  |  |
| 条例   |                       |  |  |  |  |
| 要綱等  |                       |  |  |  |  |

3.成果指標

|      |   |
|------|---|
| 成果目標 | 学校図書貸出作業の効率化、貸出の多い図書等の統計処理が容易となり、蔵書整備につながるにより、子どもの読書機会の向上を図る。 |
|------|---|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)   | 3か年計画   |   |            |
|--------------|--|---|---|------------|
|              |  | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度     |
| 事業内容<br>事業量等 | 学校図書館総合管理システムの更新・導入に向けた事前準備 羽村東小をモデル校として試験導入<br><br>旧学校図書館総合管理システムの運用 羽村西・富士見・小作台小 | 学校図書館総合管理システムの更新・導入 栄・松林・武蔵野小<br><br>学校図書館総合管理システムの運用 羽村東小<br><br>同左 羽村西・富士見・小作台小 | 同左 羽村西・富士見・小作台小・中学校3校<br><br>同左 羽村東・栄・松林・武蔵野小 | 同左 小中学校10校 |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |       | 平成28年度 |       | 平成29年度 |       | 平成30年度 |      |
|--------|------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間  | 人数     | 概算時間  | 人数     | 概算時間  | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 20 H  | 1人     | 100 H | 1人     | 10 H  | 1人     | 10 H |
| 主事・主任職 | 1人         | 100 H | 0人     | 0 H   | 1人     | 180 H | 1人     | 18 H |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 4,190      | 9,278  | 17,858 | 2,694  |
| 人件費(係長職)       | 101        | 498    | 50     | 50     |
| 人件費(主任・主事職)    | 360        | 0      | 612    | 62     |
| 総事業費(合計)       | 4,651      | 9,776  | 18,520 | 2,806  |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 4,651      | 9,776  | 18,520 | 2,806  |
| 財源内訳(合計)       | 4,651      | 9,776  | 18,520 | 2,806  |

③コスト計算

|       |        |                  |       |   |
|-------|--------|------------------|-------|---|
| ア 市民  | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 174   | 円 |
| イ 対象者 | 4448   | 人における1人あたりのコストは、 | 2,198 | 円 |
| ウ 成果物 |        | の 出来高            |       | 円 |
|       |        | のコストは            |       | 円 |

※ 対象者: 小中学校の児童・生徒数

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

小学校3校(栄小、松林小、武蔵野小)に学校図書館総合管理システムを導入し、運用を開始した。

②投入実績

| 決算の内訳(単位:円) | 予算額(当初)   | 補正・流用額      | 予算額(最終)   | 決算額       | 執行率   |
|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-------|
| 事業費         | 9,278,000 | ▲ 4,854,000 | 4,424,000 | 3,884,328 | 87.8% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)  | 今年度(どういう状態になったか)                                   |
|--|--|
| 学校図書館総合管理システムの導入校は羽村東小のみであった。その他の小学校の状況としては、旧学校図書館総合管理システムが羽村西小、富士見小、小作台小に導入されているが、栄小、松林小、武蔵野小にはシステムが導入されていない。 | 栄小、松林小、武蔵野小において、蔵書図書データベース化を行い、学校図書館総合管理システムを導入した。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物)   | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|----------|---------|---------|
| 新システムの運用 | 4校      | 4校      |
| 旧システムの運用 | 3校      | 3校      |

**Check【評価】**

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの  
 ○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】  | 高 [妥当性・有効性]                            | 今後の方向性                                 |                        |  |                      |  |         |   |
|---|--|--|------------------------|--|----------------------|--|---------|---|
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> | B:事業の進め方の改善の検討                         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |  | 高 [効率性] | A |
| B:事業の進め方の改善の検討  | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 |  |                        |  |                      |  |         |   |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討  |  |  |                        |  |                      |  |         |   |
| D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討  |  |  |                        |  |                      |  |         |   |
| 低   | 低                                      |  |                        |  |                      |  |         |   |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)   |
|--|
| 平成29年度において、旧学校図書館総合管理システムを導入している小学校3校(羽村西小、富士見小、小作台小)について、蔵書のデータベース化作業を行うとともに新システムへの更新を行う。中学校への導入及び小中学校における学校図書館システムのネットワークの確立に向けた取組みを引続き推進していく。 |

平成28年度 【基本シート】

|        |            |              |       |           |       |         |
|--------|------------|--------------|-------|-----------|-------|---------|
| 1.基本項目 |            | 作成部署         | 生涯学習部 |           | 学校教育課 |         |
| 事業名    |            | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法  | 進行管理    |
| 13     | 学校図書館司書の充実 | 平成 18 年      | 継続    | 自治事務(市独自) | 直営    |         |
|        | 01         | 年            |       |           |       |         |
|        | 02         | 年            |       |           |       |         |
|        | 03         | 年            |       |           |       |         |
|        | 04         | 年            |       |           |       |         |
|        | 05         | 年            |       |           |       |         |
| 関連課    |            |              |       |           |       |         |
| 基本目標   | 1          | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3         | 学校教育  | 事業番号 15 |

2.事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業内容 | 学校図書館司書教諭の職務を補助し、学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館司書を配置し、子どもの読書活動の一層の充実を図ります。 |
| 根拠法令 |   |
| 条例   |   |
| 要綱等  | 羽村市立学校図書館司書設置要綱   |

3.成果指標

|      |   |
|------|---|
| 成果目標 | 各学校における読書活動の充実を図るとともに、図書館との連携、新しい図書管理システムのスムーズな導入を図る。 |
|------|---|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)                    | 3か年計画           |                 |                 |
|--------------|-------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|              |                               | 平成28年度          | 平成29年度          | 平成30年度          |
| 事業内容<br>事業量等 | 各小中学校に学校図書館司書を配置<br>1日4時間 週4日 | 同左<br>1日4時間 週4日 | 同左<br>1日4時間 週4日 | 同左<br>1日4時間 週4日 |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 80 H | 1人     | 80 H | 1人     | 80 H | 1人     | 80 H |
| 主事・主任職 | 0人         | 0 H  | 0人     | 0 H  | 0人     | 0 H  | 0人     | 0 H  |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 5,868      | 5,980  | 5,980  | 5,980  |
| 人件費(係長職)       | 404        | 398    | 398    | 398    |
| 人件費(主任・主事職)    | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 総事業費(合計)       | 6,272      | 6,378  | 6,378  | 6,378  |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 6,272      | 6,378  | 6,378  | 6,378  |
| 財源内訳(合計)       | 6,272      | 6,378  | 6,378  | 6,378  |

③コスト計算

|        |            |                  |       |   |
|--------|------------|------------------|-------|---|
| ア 市民   | 56,281     | 人における1人あたりのコストは、 | 113   | 円 |
| イ 対象者  | 4448       | 人における1人あたりのコストは、 | 1,434 | 円 |
| ウ 成果物  |            | の出来高             |       | 円 |
| ※ 対象者: | 小中学校の児童・生徒 |                  |       |   |

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

学校図書館の環境整備・充実を図るため、学校図書館司書を小中学校へ1名配置した。

**②投入実績**

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初)   | 補正・流用額 | 予算額(最終)   | 決算額       | 執行率   |
|--------------|-----------|--------|-----------|-----------|-------|
| 事業費          | 5,980,000 |        | 5,980,000 | 5,917,386 | 99.0% |

**7.成果結果**

**①活動、投入実績から生じた成果(物)**

| 前年度(今までの状況)   | 今年度(どういう状態になったか)  |
|---|---|
| 学校図書館司書を各校1名配置したことで、市立図書館との連携や新図書管理システムのスムーズな導入が促進され、子どもの読書環境の充実が図れた。 | 引き続き、学校図書館の環境整備・充実を図り子どもの読書環境を充溢するため、学校図書館司書を小中学校へ1名配置した。 |

**②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合**

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check【評価】**

**8.評価**

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

**②事業評価(今後の方向性についての視点)**

| 【今後の方向性】               |  | 今後の方向性 |
|------------------------|--|--------|
| 高 [妥当性・有効性]            |  | A      |
| ↑                      | 高 [効率性]                                |        |
| 低                      | 低                                      |        |
| ←                      | →                                      |        |
| B:事業の進め方の改善の検討         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 |        |
| ←                      | →                                      |        |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討                   |        |
| ↓                      | ↑                                      |        |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)                                     |
|--|
| 今後も学校図書館の環境整備・充実を図るため、学校図書館司書を小中学校へ1名配置していく。 |



平成28年度 【基本シート】

|        |             |              |       |           |       |      |    |
|--------|-------------|--------------|-------|-----------|-------|------|----|
| 1.基本項目 |             | 作成部署         | 生涯学習部 |           | 学校教育課 |      |    |
| 事業名    |             | 開始年度         | 実施期間  | 事業種別      | 運営手法  | 進行管理 |    |
| 14     | 学校支援地域本部の運営 | 平成 25 年      | 継続    | 自治事務(市独自) | 直営    |      |    |
|        | 01          | 年            |       |           |       |      |    |
|        | 02          | 年            |       |           |       |      |    |
|        | 03          | 年            |       |           |       |      |    |
|        | 04          | 年            |       |           |       |      |    |
|        | 05          | 年            |       |           |       |      |    |
| 関連課    |             | 生涯学習総務課      |       |           |       |      |    |
| 基本目標   | 1           | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分  | 3         | 学校教育  | 事業番号 | 10 |

2.事業の概要

|      |  |
|------|--|
| 事業内容 | 中学校区ごとに学校を支援する組織をつくり、学校・地域・家庭との連携を推進します。 |
| 根拠法令 |  |
| 条例   |  |
| 要綱等  |  |

3.成果指標

|      |  |
|------|--|
| 成果目標 | 地域が学校を支援していくとともに、学校を核として地域コミュニティの活性化が図れる体制を整備する。 |
|------|--|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)             | 3か年計画                  |                     |        |
|--------------|------------------------|------------------------|---------------------|--------|
|              |                        | 平成28年度                 | 平成29年度              | 平成30年度 |
| 事業内容<br>事業量等 | 学校支援地域本部運営委員会の準備       | 学校支援地域本部運営委員会の設置・運営 1回 | 学校支援地域本部運営委員会の運営 1回 | 同左 1回  |
|              | 中学校区ごとの学校支援地域本部の運営 1回  | 同左 1回                  | 同左 1回               | 同左 1回  |
|              | 学校支援地域本部コーディネーターの配置 1人 | 同左 1人                  | 同左 1人               | 同左 1人  |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 80 H | 1人     | 80 H | 1人     | 80 H | 1人     | 80 H |
| 主事・主任職 | 0人         | 0 H  | 0人     | 0 H  | 0人     | 0 H  | 0人     | 0 H  |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 800        | 816    | 816    | 816    |
| 人件費(係長職)       | 404        | 398    | 398    | 398    |
| 人件費(主任・主事職)    | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 総事業費(合計)       | 1,204      | 1,214  | 1,214  | 1,214  |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 394        | 394    | 394    | 394    |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 810        | 820    | 820    | 820    |
| 財源内訳(合計)       | 1,204      | 1,214  | 1,214  | 1,214  |

③コスト計算

|        |            |                  |     |   |
|--------|------------|------------------|-----|---|
| ア 市民   | 56,281     | 人における1人あたりのコストは、 | 22  | 円 |
| イ 対象者  | 4448       | 人における1人あたりのコストは、 | 273 | 円 |
| ウ 成果物  |            | の 出来高            |     | 円 |
| ※ 対象者: | 小中学校の児童・生徒 |                  |     |   |

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

一・二・三中校区全ての学校において、学校支援地域本部を設置し、学校教育に地域人材を活かせる体制の充実を図った。

②投入実績

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初) | 補正・流用額 | 予算額(最終) | 決算額     | 執行率    |
|--------------|---------|--------|---------|---------|--------|
| 事業費          | 816,000 |        | 816,000 | 816,000 | 100.0% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)  | 今年度(どういう状態になったか)   |
|--|--|
| 学校・地域を取巻く国の制度(コミュニティ・スクール、地域学校協働本部)が流動的であるため、学校支援地域本部連絡協議会の設置を見直し、市教育委員会事務局及び学校支援地域本部コーディネーター、学習コーディネーターとの情報共有化を図るための運営委員会を開催した。 | 引続き、市教育委員会事務局及び学校支援地域本部コーディネーター、学習コーディネーターとの情報共有化を図るための運営委員会を開催した。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

⇒

**Check(評価)**

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの  
 ○・・・適切なもの  
 △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】   | 高 [妥当性・有効性]                            | 今後の方向性                                 |                          |                        |         |   |
|--|--|--|--------------------------|------------------------|---------|---|
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td style="text-align: center;">→ D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> | B:事業の進め方の改善の検討                         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | ← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 | → D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 | 高 [効率性] | A |
| B:事業の進め方の改善の検討   | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 |  |                          |                        |         |   |
| ← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討   | → D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討                 |  |                          |                        |         |   |
|  | 低                                      |  |                          |                        |         |   |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)  |
|---|
| 学校・地域を取巻く国の制度(コミュニティ・スクール、地域学校協働本部)が流動的であるため、動向を注視しながら今後も体制整備を検討していく。 |

平成28年度 【基本シート】

|        |            |              |        |      |      |         |
|--------|------------|--------------|--------|------|------|---------|
| 1.基本項目 |            | 作成部署         | 生涯学習 部 |      |      | 学校教育課   |
| 事業名    |            | 開始年度         | 実施期間   | 事業種別 | 運営手法 | 進行管理    |
| 15     | 小中学校部活動の充実 | 不明 年         |        |      |      |         |
|        | 01         | 年            |        |      |      |         |
|        | 02         | 年            |        |      |      |         |
|        | 03         | 年            |        |      |      |         |
|        | 04         | 年            |        |      |      |         |
|        | 05         | 年            |        |      |      |         |
| 関連課    |            |              |        |      |      |         |
| 基本目標   | 1          | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分   | 3    | 共生社会 | 事業番号 23 |

2.事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業内容 | 小中学校の部活動への支援をします。<br>(大会参加費及び交通費の保護者への補助、大会参加に係る楽器運搬自動車借上、外部指導員の配置) |
| 根拠法令 |   |
| 条例   |   |
| 要綱等  | 羽村市立小学校課外クラブ活動指導員設置要綱、羽村市立中学校部活動外部指導員設置要綱                           |

3.成果指標

|      |  |
|------|--|
| 成果目標 | 次代を担う児童生徒の心豊かで健やかな成長<br>保護者負担軽減、部活動指導の充実、指導者不足に伴う休廃部解消、教員の校務改善 |
|------|--|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)  | 3か年計画  |        |        |
|--------------|---|--------|--------|--------|
|              |   | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 事業内容<br>事業量等 | 【小学校】<br>金管バンド部の大会参加費・交通費補助<br>楽器運搬用自動車借上<br><br>【中学校】<br>スポーツ・文化活動部の大会参加費・交通費補助<br>吹奏楽部の大会参加に係る楽器運搬用自動車借上<br>部活動外部指導員の配置 | 同左     | 同左     | 同左     |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 0人         | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   | 0人     | 0H   |
| 主事・主任職 | 2人         | 368H | 2人     | 368H | 2人     | 368H | 2人     | 368H |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 13,156     | 16,015 | 16,015 | 16,015 |
| 人件費(係長職)       | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 人件費(主任・主事職)    | 2,649      | 2,502  | 2,502  | 2,502  |
| 総事業費(合計)       | 15,805     | 18,517 | 18,517 | 18,517 |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 15,805     | 18,517 | 18,517 | 18,517 |
| 財源内訳(合計)       | 15,805     | 18,517 | 18,517 | 18,517 |

③コスト計算

|       |        |                  |       |        |
|-------|--------|------------------|-------|--------|
| ア 市民  | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 329   | 円      |
| イ 対象者 | 4448   | 人における1人あたりのコストは、 | 4,163 | 円      |
| ウ 成果物 |        | の 出来高            |       | 円      |
|       |        |                  |       | の コストは |

※ 対象者: 小中学校の児童・生徒

**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

大会参加費及び交通費の保護者への補助、大会参加に係る楽器運搬自動車借上により、小中学校の部活動への支援を行った。  
 小中学校の課外クラブ・部活動において、専門的知識を有する外部指導員を活用し、課外クラブ・部活動の充実を図った。

②投入実績

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初)    | 補正・流用額   | 予算額(最終)    | 決算額        | 執行率   |
|--------------|------------|----------|------------|------------|-------|
| 事業費          | 16,015,000 | ▲ 30,000 | 15,985,000 | 12,849,463 | 80.4% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)   | 今年度(どういう状態になったか)  |
|---|---|
| 大会参加費に係る保護者への補助、楽器運搬自動車の借上げや外部指導員の配置による支援を行い部活動等の充実が図られた。 | 引続き、大会参加費に係る保護者への補助、楽器運搬自動車の借上げや外部指導員の配置による支援を行い部活動等の充実が図られた。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

**Check【評価】**

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目           | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|--------------|---|------------------------------|------|
| 妥当性<br>(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性<br>(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性<br>(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

|  |  |                |        |  |                        |  |                      |  |
|--|--|----------------|--------|--|------------------------|--|----------------------|--|
| 【今後の方向性】   |  | 高 [妥当性・有効性]    | 今後の方向性 |  |                        |  |                      |  |
| <table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td>C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> <td></td> </tr> </table> |  | B:事業の進め方の改善の検討 |        | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |  |
| B:事業の進め方の改善の検討   | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 |                |        |  |                        |  |                      |  |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討   |  |                |        |  |                        |  |                      |  |
| D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討   |  |                |        |  |                        |  |                      |  |
| 低  |  | 低              | A      |  |                        |  |                      |  |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

|  |
|--|
| 評価(所管課長)<br>今後も大会参加費に係る保護者への補助、楽器運搬自動車の借上げや外部指導員の配置による支援を行い部活動等の活性化を図っていく。 |
|--|

平成28年度 【基本シート】

|        |                       |              |        |      |        |         |
|--------|-----------------------|--------------|--------|------|--------|---------|
| 1.基本項目 |                       | 作成部署         | 子ども家庭部 |      | 子育て支援課 |         |
| 事業名    |                       | 開始年度         | 実施期間   | 事業種別 | 運営手法   | 進行管理    |
| 16     | 幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会の運営 | 平成 18 年      | 継続     | 自治事務 | 直営     |         |
|        | 01                    | 年            |        |      |        |         |
|        | 02                    | 年            |        |      |        |         |
|        | 03                    | 年            |        |      |        |         |
|        | 04                    | 年            |        |      |        |         |
|        | 05                    | 年            |        |      |        |         |
| 関連課    | 学校教育課                 |              |        |      |        |         |
| 基本目標   | 1                     | 生涯を通じて学び育つまち | 施策区分   | 3    | 学校教育   | 事業番号 21 |

2.事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業内容 | 幼稚園、保育園と小学校の円滑な接続のため、連携推進懇談会による現状の把握、対応方法の検討を行い、幼稚園、保育園と小学校の交流機会の促進など、つながりを意識した対応に取り組みます。 |
| 根拠法令 |   |
| 条例   |   |
| 要綱等  | 羽村市幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会要綱   |

3.成果指標

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 成果目標 | 平成28年度、就学前プログラム、就学前カリキュラム策定。 |
|------|------------------------------|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)            | 3か年計画                |                  |                  |
|--------------|-----------------------|----------------------|------------------|------------------|
|              |                       | 平成28年度               | 平成29年度           | 平成30年度           |
| 事業内容<br>事業量等 | 幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会 1回 | 同左<br>懇談会1回 部会4回     | 同左<br>懇談会1回 部会4回 | 同左<br>懇談会1回 部会4回 |
|              | 相互理解促進のための情報交換        | 相互理解促進のための情報交換、事業の実施 | 同左               | 同左               |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 10 H | 1人     | 20 H | 1人     | 20 H | 1人     | 20 H |
| 主事・主任職 | 0人         | 0 H  | 0人     | 0 H  | 0人     | 0 H  | 0人     | 0 H  |

②総事業費

| 事業費の内訳 (単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|------------|--------|--------|--------|
| 事業費            | 15         | 15     | 25     | 25     |
| 人件費(係長職)       | 51         | 100    | 100    | 100    |
| 人件費(主任・主事職)    | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 総事業費(合計)       | 66         | 115    | 125    | 125    |
| 国庫支出金          | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 都支出金           | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 受益者負担額         | 0          | 0      | 0      | 0      |
| その他特定財源        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般会計繰入金        | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 起債             | 0          | 0      | 0      | 0      |
| 一般財源(人件費含む)    | 66         | 115    | 125    | 125    |
| 財源内訳(合計)       | 66         | 115    | 125    | 125    |

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果物  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:



**Do【実行】** 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

小学校教師、幼稚園教諭、保育士で構成される部会を通じて、「子どもの輝く未来のために」改訂に向けた意見提言を行った。また、交流事業として、支援が必要な園児に対し先進的な取り組みを行っている市内保育園(私立まつぼっくり保育園)の視察及び、市内小学校の特別支援教室(羽村西小学校くすのき学級)の見学を行った。  
 当初計画では、部会を4回開催する予定だったが、交流事業後に意見交換の場を設けることができたことから開催を3回とした。なお、懇談会委員の欠席により報償費の支出が減少した。

②投入実績

| 決算の内訳 (単位:円) | 予算額(当初) | 補正・流用額 | 予算額(最終) | 決算額   | 執行率   |
|--------------|---------|--------|---------|-------|-------|
| 事業費          | 15,000  | 0      | 15,000  | 5,000 | 33.3% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)                | 今年度(どういう状態になったか)   |
|----------------------------|--|
| 懇談会を1回開催し、平成28年度活動計画を決定した。 | 平成28年度活動計画をもとに、部会において、「子どもの輝く未来のために」改訂に向けた意見提言を行った。また、交流事業を通じて、幼稚園・小学校・保育園の相互理解の促進を図ることができた。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物)               | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|----------------------|---------|---------|
| 幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会   | 1回      | 1回      |
| 幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会部会 | 4回      | 3回      |
|                      |         | 交流事業 2回 |

**Check【評価】**

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目       | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|----------|---|------------------------------|------|
| 妥当性(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ◎    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】  | 高 [妥当性・有効性]                            | 今後の方向性                                 |                        |  |                      |  |         |   |
|---|--|--|------------------------|--|----------------------|--|---------|---|
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> | B:事業の進め方の改善の検討                         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |  | 高 [効率性] | A |
| B:事業の進め方の改善の検討  | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 |  |                        |  |                      |  |         |   |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討  |  |  |                        |  |                      |  |         |   |
| D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討  |  |  |                        |  |                      |  |         |   |
| 低   | 低                                      |  |                        |  |                      |  |         |   |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

| 評価(所管課長)  |
|---|
| 幼稚園・保育園等から小学校への円滑な接続と相互理解促進のための大切な事業であり、平成28年度においては、部会、交流事業を通じて一定の成果が得られたものと捉えている。<br>今後は、この取り組みを継続、充実させていくなかで、幼・保・小の自主的な活動が更に進んで行くよう働きかけていく。 |

平成28年度 【基本シート】

|        |               |         |       |      |          |      |
|--------|---------------|---------|-------|------|----------|------|
| 1.基本項目 |               | 作成部署    | 都市建設部 |      |          | 建築課  |
| 事業名    |               | 開始年度    | 実施期間  | 事業種別 | 運営手法     | 進行管理 |
| 17     | 学校教育施設の計画的な改修 | 平成 24 年 | 継続    | 自治事務 | 業務委託(一部) |      |
|        | 01            |         | 年     |      |          |      |
|        | 02            |         | 年     |      |          |      |
|        | 03            |         | 年     |      |          |      |
|        | 04            |         | 年     |      |          |      |
|        | 05            |         | 年     |      |          |      |
| 関連課    | 生涯学習総務課       |         |       |      |          |      |
| 基本目標 1 | 生涯を通じて学び育つまち  | 施策区分    | 3     | 学校教育 | 事業番号     | 22   |

2.事業の概要

|      |   |
|------|---|
| 事業内容 | 学校教育施設の機能維持と延命化を図るため、施設の改修工事を計画的に実施します。 |
| 根拠法令 |   |
| 条例   |   |
| 要綱等  |   |

3.成果指標

|      |   |
|------|---|
| 成果目標 | 老朽化した施設の改修を行うことにより、安全・快適に利用できる環境を整備するとともに施設の延命化を図る。 |
|------|---|

4.活動指標

| Plan【計画】     | 平成27年度(現況)  | 3か年計画  |  |  |
|--------------|---|--|--|--|
|              |   | 平成28年度   | 平成29年度   | 平成30年度   |
| 事業内容<br>事業量等 | 体育館非構造部材対策工事<br>羽村西小、羽村東小、栄小、一中、富士見小、二中(外壁改修含)<br><br>学校トイレ改修工事<br>Ⅰ期工事:一中<br><br>防音機能復旧工事<br>羽村西小(設計)<br><br>太陽光発電システム(設計)<br>羽村東小、栄小、二中 | 大規模改修工事<br>小作台小<br>同左<br>(複数年事業)<br>富士見小、二中(外壁改修含)<br><br>同左<br>Ⅱ期工事:一中<br><br>同左(工事)<br>羽村西小<br>学校防水改修工事<br>栄小<br>太陽光発電システム(工事)<br>羽村東小、栄小、二中 | プール改修工事<br>二中<br>学校トイレ改修工事(設計)<br>富士見小、武蔵野小、二中<br><br>同左<br>Ⅲ期工事:一中<br><br>同左(設計)<br>一中<br>同左<br>羽村西小、富士見小 | 同左<br>松林小<br><br>同左<br>Ⅰ期工事:富士見小、武蔵野小、二中<br>同左(工事)<br>一中<br>外壁・プール改修工事<br>富士見小 |

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

| 職層・職種別 | 平成27年度(現況) |      | 平成28年度 |      | 平成29年度 |      | 平成30年度 |      |
|--------|------------|------|--------|------|--------|------|--------|------|
|        | 人数         | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 | 人数     | 概算時間 |
| 係長職    | 1人         | 240H | 0人     | 240H | 0人     | 240H | 0人     | 240H |
| 主事・主任職 | 2人         | 480H | 0人     | 480H | 0人     | 480H | 0人     | 480H |

②総事業費

| 事業費の内訳(単位:千円) | 平成27年度(現況) | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |
|---------------|------------|---------|---------|---------|
| 事業費           | 422,928    | 567,055 | 200,117 | 607,345 |
| 人件費(係長職)      | 1,210      | 0       | 0       | 0       |
| 人件費(主任・主事職)   | 3,455      | 0       | 0       | 0       |
| 総事業費(合計)      | 427,593    | 567,055 | 200,117 | 607,345 |
| 国庫支出金         | 137,417    | 145,742 | 10,855  | 242,114 |
| 都支出金          | 67,494     | 80,981  | 0       | 0       |
| 受益者負担額        | 0          | 0       | 0       | 0       |
| その他特定財源       | 0          | 0       | 0       | 0       |
| 一般会計繰入金       | 0          | 112,947 | 0       | 0       |
| 起債            | 0          | 0       | 0       | 0       |
| 一般財源(人件費含む)   | 222,682    | 227,385 | 189,262 | 365,231 |
| 財源内訳(合計)      | 427,593    | 567,055 | 200,117 | 607,345 |

③コスト計算

|        |        |                  |        |          |
|--------|--------|------------------|--------|----------|
| ア 市民   | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 10,075 | 円        |
| イ 対象者  | 56,281 | 人における1人あたりのコストは、 | 10,075 | 円        |
| ウ 成果物  |        | の出来高             |        | の COST は |
| ※ 対象者: |        |                  |        |          |

**Do(実行) 【進行管理】**

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか  
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

施設の機能維持と延命化を図るため、施設の改修工事を計画的に実施した。  
 富士見小体育館・二中体育館改修工事(非構造部材対策)(H28.10.3完了)  
 小作台小学校大規模改修事業(H28.9.30完了)  
 羽村西小学校防音機能復旧(機器取替)事業(H28.8.31完了)  
 一中トイレ改修工事(東側系統)(H28.9.30完了)、(体育館)(H29.3.20完了)  
 栄小屋上防水改修工事(H28.8.31完了)  
 羽村東小、栄小、羽村二中太陽光発電システム設置工事(H29.2.3完了)

②投入実績

| 決算の内訳(単位:円) | 予算額(当初)     | 補正・流用額      | 予算額(最終)     | 決算額         | 執行率   |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 事業費         | 567,055,000 | 113,243,000 | 680,298,000 | 661,217,040 | 97.2% |

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

| 前年度(今までの状況)                        | 今年度(どういう状態になったか)                                     |
|------------------------------------|--|
| 施設の機能維持と延命化を図るため、施設の改修工事を計画的に実施した。 | 老朽化した施設の改修を行うことにより、安全・快適に利用できる環境を整備するとともに施設の延命化を図った。 |

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

| 対象者(物) | 本年度:目標値 | 本年度:実績値 |
|--------|---------|---------|
|        |         |         |

⇒

**Check(評価)**

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

8.評価

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

| 項目           | 評価のポイント   | 項目の着眼点                       | 課長評価 |
|--------------|---|------------------------------|------|
| 妥当性<br>(必要性) | ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か<br>・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか<br>・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか | 施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか        | ○    |
| 効率性<br>(手法)  | ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか  | 成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか | ○    |
| 有効性<br>(成果)  | ・事業の目標が達成されているか   | 成果又は効果が表れているか                | ○    |

②事業評価(今後の方向性についての視点)

| 【今後の方向性】               |   | 高 [妥当性・有効性]    | 高 [効率性]                                | 今後の方向性                 |  |                      |  |   |   |   |
|------------------------|---|----------------|--|------------------------|--|----------------------|--|---|---|---|
| 低                      | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table> | B:事業の進め方の改善の検討 | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当 | C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |  | D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 |  | ↑ | → | A |
| B:事業の進め方の改善の検討         | A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当  |                |  |                        |  |                      |  |   |   |   |
| C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 |   |                |  |                        |  |                      |  |   |   |   |
| D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討   |   |                |  |                        |  |                      |  |   |   |   |
|                        |   | ↓              |  |                        |  |                      |  |   |   |   |
|                        |   | 低              |  |                        |  |                      |  |   |   |   |

**Action【改善】**

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)  
 児童・生徒等が安全快適に学校施設を利用できる環境整備のための改修工事を公共建築物維持保全計画に基づき、計画的に実施していく。